

# 複式「ロータリー」整理と將來性

渡邊 徳松

昭和九年一月麴町區和田倉門交叉點に「ロータリー」式交通整理を採用し、其成績良好なるに鑑み爾來其數を増し現在四箇箇所を算するに至りたり。

「ロータリー」式整理に於て最も其效力を抹殺せらるるは横斷歩行者なり。これは將來地下横斷歩道の設置を待つの外處理方法は無い………日比谷、銀座四丁目、須田町等の交叉點は何れもこの問題に依りて未だ已を得ず「プロツク」式整理を行ひつゝあり。

燃料の經濟、輸送能力の發揮を望み併て安全を期するに「ロータリー」式整理を第一位とし、立體交叉は之に次ぐのである。

然るに從來の「單純ロータリー」(中央島一箇和田倉門式

のもの)に關しては其効績は周知の事實にして、何人と雖も疑を容れざれども「複式ロータリー」(中央島二箇にして分岐合流を利用するもの)に關しては半信半疑の向多かるべきを以つて昨十四年七月一日以來、市土木局建設課並に牛込區土木課の御骨折に依りに設置せられたる牛込區飯田橋交叉點に於ける「複式ロータリー」の成績に就て説明し各位の參考に資せんとする次第である。

飯田橋交叉點は不正五叉路にしてA九段下………大曲、B水道橋………市谷見附、C水道橋………早稻田、の街路より成り何れも市電の併用軌道を有する爲め、設計當時に於ても之が成否を氣遣ふ者も相當に有つたが、建設課並に當廳に於ては相當研究の結果、英斷的に實施する事として着手に

到つたのである。

設置後の成績を見るに表一の通りである。

表 一

期 間	死亡	重傷	輕傷	物件破損額
A 設置前(一……六)六箇月	一	二	二七・〇〇	圓
B 設置後(七……十二)六箇月	二	三		

重傷とは全治日數二一日を超えるものを云ふ

設置後は数字的成績に於ては逆効果を示して居る。然し A は平調なる時期であるに反し、B は益々年末を包む輸送力の大きな時期であつた事を考慮せねばならぬ。

表 二

期 別	死亡	重傷	輕傷	物件破損額
B 表一のB期(七……十二)	二	五		
C 前年度同期	一	一	三一・〇〇	

更に表二の成績を見るに同様逆効果を示して居る。然しこの数字のみを以つて速断は出来ない其理由を挙げれば、

一、Cの時期に在りては三現示式「ブロック」整理にして常に一定時間は全く一方面、又は二方面の交通を阻止し

て居たのであるに反し、Bの時間は各方面同時に交通をなさしめたのである。これを換算せばCの数字はBの数字を遙にオーバーする事となる。

二、各車輛の運轉者(操縦者)は從來の「ブロック」整理又は「單純ロータリー」には永年の習慣があるが「複式ロータリー」に對しては全く訓練されて居らぬ爲め、通行に迷ひたる者相當にありたり。

三、一般交通と無關聯に電車が直線進行する爲、之に阻害されるものがある。

絛上の事實を考慮せば「複式ロータリー」の効果は大なるものありて將來性を充分に有するものである。何等憂る點は無い、殊に目下土木局建設課に於て工事中の荒川區三河島五丁目(宮地)の改造に依る複式「ロータリー」の如きは成績見るべきものありと期待せられて居るのである。

以上は現場の成績より見たる「複式ロータリー」の將來性である………御参考の一端に資せんと稿す。

昭和十五年四月十日